

✓ 定期的なチェックで早期対応を

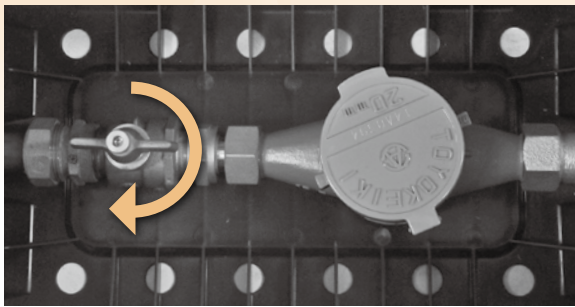
「漏水かな」と思ったら

水道の使用量が増えているという相談や、経年劣化による漏水の報告が増えています。わずかな漏水でも、時間の経過とともに量は増えていきます。水道メーターや使用水量のお知らせを確認するなど、定期的にチェックしましょう。

兆候をチェックしよう

- 特に理由がないのに、水道の使用量が増えている
- 蛇口をよく閉めたにもかかわらず、水が垂れている

【別図】メーターボックス



止水栓を右へ止まるまで回す

漏水していたら

〈宅内側の漏水〉

蛇口や水洗トイレ、宅内の配管など、道路側から見て最初の止水栓（第1止水栓）から宅内側で漏水している場合は、旭市指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。費用は所有者が使用者の負担となります。メーターボックス内の止水栓を右に回すことで、水を止める

- 水を使っていないのに、蛇口

- などに耳を当てると音がする

- 水道管を埋めてある付近が湿っている

- 水を使っていないのに、宅内

- から側溝などに排水している

- 水洗トイレの水を流していないのに、水が流れている

ことができます（別図）。

旭市指定給水装置工事事業者は、

市ホームページで

確認できます。

〈道路側（水道管）の漏水〉

道路から第1止水栓の間で漏水している場合は、上下水道課に連絡してください。



料金はどうなるの？

道路などに埋設してある配水管から分岐して引き込まれた家庭の蛇口までの管を「給水装置」といいます。給水装置は皆さんの財産であり、自身で管理する必要があります。漏水で通常より請求が高額になっても、計量した水量に対する料金は支払う必要があります。

〈減免される場合があります〉

次の条件を全て満たすときは、減免となることがあるので、問い合わせてください。

- 地下や壁内、床下の漏水で、

- 地表や外観からは確認できず、流水音もしないなど、発見することが困難な場合

- 漏水発見後、速やかに旭市指定給水装置工事業者に連絡

し、修理をした場合

〈減免対象に当たらない例〉

- 蛇口の閉め忘れなど、使用者の不注意による場合

- 蛇口、水洗トイレ、給湯器などの器具の故障による場合

- 受水槽本体や受水槽・給湯器の先から漏水している場合

- 漏水を発見した日から2か月以内に減免の申請をしていない場合

- 井戸水の配管を水道に切り替えて使用している場合

- 無届けで給水装置を改造した場合

問い合わせ先

旭市上下水道お客様センター

☎ 63・8881

上下水道課工務班

☎ 62・5364

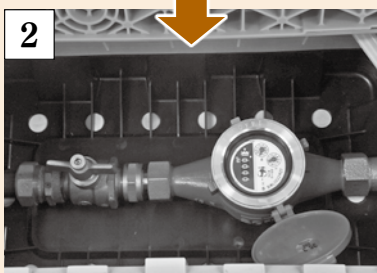
漏水の確認方法

1



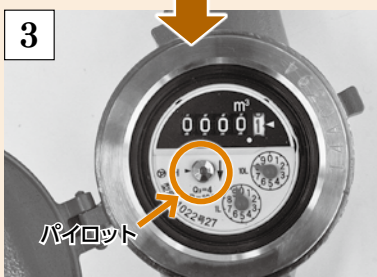
家庭内の蛇口を全て閉め、水洗トイレや給湯器などで水を使用していないことを確認します。

2



メーターボックスを開け、水道メーターのふたを開けます。

3



パイロットが少しでも回っていれば、どこかで漏水しています。旭市指定給水装置工事業者に修理を依頼しましょう。